

第27回共に働くまちを拓くべんきょう会 いまだから語ろう 町工場の車イス人生

10月27日(木)6時半～ 越谷市中央市民会館4階

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働きかたや暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。一回、一回、レポーターをお願いし、それを口火としておしゃべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は、草加周辺の10ヶ所余りの町工場で働いた経験を持つ山本哲雄さんのお話をうかがいたいと思います。。

終了後お時間のある方は
ファミレスでおしゃべりしましょう。



話し手 山本哲雄さん

(草加市在住めだか工房)

会費・200円

主催・NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 048-964-1819

いまだから語ろう 町工場の車イス人生

話し手 山本哲雄さん (草加市在住 めだか工房)



山本哲雄さん(四十九歳 車イス使用)は、これまで草加職業安定所の紹介により、十社あまりの会社に就職し、働いてきました。

職種の多くは、プレスなどの手作業でした。

多くは一年未満でやめざるをえませんでした。

山本さんの思い出や苦労話を通して、草加周辺の町工場の空気やそこに生きる人々のくらしをイメージきたらと思います。

山本さんは、現在、障害者地域デイケア事業の「めだか工房」に通所しており、パン作りや草加市勤労福祉会館の福祉の店で店番をしています。

就職と失業をくりかえしていた当時は、山本さん自身、精一杯で、体験をかみくだいて人に伝える余裕もありませんでした。幸か不幸か、就職戦線から一歩退いたいまだから、ふりかえる機会がめぐってきたともいえます。

あちこちのデイケア施設、授産施設には、山本さんのように一般職場で働いてきた体験をもつ人々がたくさんいます。その一人一人の貴重な体験が、後に続く世代に受け継がれないまま埋もれているのは、労働と福祉の間に深い谷があるからです。この谷の両岸から橋をかける大工事は、今夜のべんきょう会のようなささやかな企てから始まります。

そんな思いを込めて……

第27回共に働くまちを拓くべんきょう会

10月27日(木) 6時半～ 越谷市中央市民会館 4階

資料代・200円

特定非営利活動法人障害者の職場参加をすすめる会

048-964-1819